

7月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		8,703	95	8,943	70	129	79	3	0.0	北海道、青森産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道は播種後の低温と乾燥により生育が遅れており、出荷開始は7月10日過ぎからで、下旬頃からまとまった量となる。青森は4月中旬～5月中旬にかけての低温の影響から、7月前半の入荷量は少なくなる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
にんじん		6,291	100	6,214	149	87	139	-	0.0	青森、千葉、北海道産中心の入荷で全体の約9割を占める。青森、北海道は5月中旬までの低温・少雨の影響により初期生育は遅れたものの、6月に入ってから気温上昇により生育は回復してきており、入荷量は前年並みとなる。千葉は入荷量は前年より少なく、20日頃で終了の見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に下回る見込み。
はくさい		5,669	100	5,956	50	100	56	-	0.0	長野産中心の入荷で全体の約9割を占める。長野は4月中旬～5月上旬にかけての低温等の影響で生育が遅れていたものの、現在は生育も回復してきており、前年並みの入荷となる。全体の入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。
キャベツ類		15,032	100	15,142	51	118	70	-	0.0	群馬、岩手、茨城産中心の入荷で全体の約8割を占める。群馬は生育初期の低温と乾燥の影響により初期生育が遅れたものの、現在は生育も回復してきており、入荷量はほぼ前年並みとなる。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に上回るものの前年より低くなる見込み。
ねぎ		4,045	100	4,084	274	100	292	-	0.0	茨城、千葉、埼玉産中心の入荷で全体の8割を占める。各産地とも6月中旬の降雨で生育、肥大とも順調に推移している。病害虫の発生も少なく、順調な入荷となる。全体の入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。
きゅうり		7,868	100	8,021	224	103	215	319	4.1	福島、岩手、秋田産中心の入荷となる。各産地とも5月中旬までの低温・少雨の影響により生育が遅れていたが、6月中旬の降雨で回復してきている。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。

7月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
トマト		8,874	102	8,565	301	93	287	472	5.3	青森、栃木、茨城産を中心とした入荷となる。青森は生育初期の低温おの影響で生育が遅れたものの、現在は回復してきている。6月下旬から入荷開始となり、7月上旬頃に1回目のピークを迎える。栃木、茨城は、ほぼ前年並みの入荷量となる。全体の入荷量はほぼ前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。
えだまめ		1,473	95	1,740	682	125	727	7	0.4	群馬、埼玉、千葉産が中心となる。関東各産地とも生育初期、開花期の低温と乾燥の影響により生育にバラツキがあり、着莢および莢肥大の不良も見られることから、入荷量は前年をやや下回る。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。